

地域づくり型生涯学習講座コーディネート事業

可茂地区社会教育振興協議会合同部会の 「ミニ研修会」にて講話を実施



子どもを核とした地域づくり ～「命を守る訓練」の取組を通して～

講 師 中津川市付知公民館社会教育主事 伊藤 あゆみ 氏

日 時 令和7年11月17日（月） 14：40～16：10

場 所 可茂総合庁舎

対 象 可茂地区社会教育振興協議会、社会教育委員等部会、公民館等部会
社会教育関係職員部会 20名

内 容

- 付知公民館の現状と取組
- 付知中学校・付知保育園命を守る訓練「合同避難訓練」について
- 付知北小学校・付知南小学校「命を守る訓練」について
- 講話内容に関する交流、質疑応答

参加者の感想

- 付知公民館が指定管理者制度により、運営管理されていることに興味をもった。当町も、公民館館長・主事・事務職員のなり手不足に直面している。今後の参考にさせていただきたい。
- 保育園から中学校まで一体となって防災学習する流れができており、子どもたちにも意識づけしやすい取組だと思った。当町では、単発で防災学習を小学校で行っているが、もっと子どもたちに「自分たちにできること」などを考えてもらえるような講座にできたらよいと今日のお話を聞いて感じた。

主催者の感想（コーディネート事業を利用して）

- 中学生が発したアイデアを実現させようと、付知で長年かけて行ってきた「命を守る訓練」の実践を通して、地域全体で子どもたちを育む体制・環境づくりについて参考になる点が多くあった。
- 子どもたちへ防災意識を育みながら、保護者の意識も変えていくことにつながっている点についても学ぶことができた。